

総合的な学習の時間における情報機器の活用

豊里小学校

1 単元名 自分や家族の健康を守ろう（5・6年 総合）

2 単元の目標

- ・健康について自分の体や生活を見直し、その中から自分自身の課題を設定し、友達と協力しながら追求することにより自分自身の生活をよりよくする方法を見つけることができる。
- ・体や生活について、身近な人々と共に健康な生活を保持・増進していこうとする意識や態度を育てる。
- ・課題に沿って必要な資料を収集・選択して、まとめたり発表したりすることができる。

3 指導計画の概要

	ね ら い	主 な 学 習 活 動	活 動 の た め の 支 援
動機づけ課題作り計画4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康状態を知り、問題意識を持たせることができる ・薬害の恐ろしさや健康であることのお話を聞くことにより自分にとっての健康について考える事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の健康カードをもとに自分の体について知る。 ・健康な生活を送っていく上で自分の課題をさぐる。 ・薬害の恐ろしさについての話を聞く。 ・健康であることのお話を聞く。 ・自分自身の健康について考え、課題を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康カードより体重と身長バランス、歯、視力、運動能力等について考えさせる。また、自分自身の生活についても考えさせる。たばこ、酒等についてもふれる。 ・ゲストを招き、専門的立場からの話を聞く。 ・心や体の健康という広いとらえ方をさせ、自分自身の課題を考えさせていく。
追求6	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けての方法を考え、主体的に問題を解決していく能力を育てることができる。 ・多くの情報の中から、自分の必要な情報を選び出す、情報処理能力を育てることができる。 ・外部の方々との交流を通し、言葉遣いや礼儀等、社会性を身につけることができる。 ・自分の仕入れた情報を、積極的に友達等に公開することで仲間意識を育てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、コンピュータや本で調べたり、知っている人から話を聞くなどして調べ学習を進める。 (追求全体を通して) ・多岐にわたる情報の中から資料の種類と所在を明らかにする。 ・外部機関等からの資料収集のために依頼文を考える。 (追求1・2) ・情報収集の視点を変え、実際に外へ出て行くなどして資料を確実なものにしていき、よいものは自分のものにしていく。 (追求3・4) ・まとめに向けて、手に入れた情報が課題解決にあっているか確認しながら進める。 (追求5・6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータに必要と見られる情報をリンクしておく。 ・メール発信のためのアドレスを事前に調べ準備しておく。 ・参考図書、映像の抜粋等を準備しておく。 ・地域の方へのコンタクトをとる。 ・外部の方々との交渉、交流のために、簡単なマニュアルを用意しておく。
まとめ2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理能力の向上を図る。 ・学級毎、個人でスタディノートにまとめ表現力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの資料をもとに必要事項をまとめる。 ・情報交換をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方のアドバイスをする。

4 情報機器活用の意図

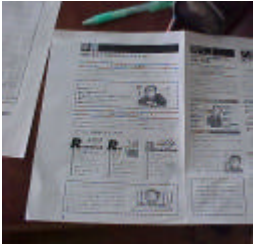
自分の健康という身近なところから課題を見つけ、そこから多面的・総合的な考えへと広げていくために、情報機器を活用した。また、各自が課題解決に向け、現地で情報を収集したり、インターネットで調べたりしたものを、スタディノートの掲示板にまとめていく。掲示板を見合うことで、情報の共有化を図ることができる。

5 本時の活動

(1)目標

- ・自分の体の健康保持増進のための課題解決に必要な情報や資料を集めたり、調べたりしてまとめることができる。
- ・課題解決のために集めた資料や情報を整理・保存し再利用する事ができる。

(2)展開

内容	学習活動	教師の支援
調べ方の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・課題別に決められた集合同所に集まりグループや調べる内容について確かめる。 ・調べている内容に合う資料を一人一人が探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活グループ ・生活習慣などによる病気グループ ・運動グループ ・食事グループ ・健康を守る環境（たばこ・薬害）グループ 
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室・コンピュータ室 保健室・職員室で ・ノートやスタディノート、ワークシートに分かったことや調べている内容に関連したことなど収集し、的確に内容を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる検索やメールの送受信。 ・メールアドレスは登録しておく。 <p>目的に合致している資料が見つかった時には、その内容を共有するために、連絡を密にしていける大ワークシートや校内LANの活用を目を向けさせる。</p>
情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の情報の所在についても明らかにしていく。 ・今日集めた情報の中から必要なことを取り出し、また提供させてまとめていく。 	<p>情報収集の多様化で調べる内容にずれや食い違いが生じている子には、適切な情報の所在について助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容を持ち寄り必要な情報を選び、ピックアップしていく。 ・ワークシートにまとめさせたり、スタディノートにはりつける。各自の課題について何の情報があるかを確認し、それぞれの良さを誉めたり、認めたりする。次時への学習の見通しについて助言していく。
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりがグループ内で発言し、学習を共通な内容に近づけるようにする。 ・必要な情報をワークシートに記入する。

6 成果と課題

健康に対する質問事項を、専門機関や校医さんに聞く方法としてメールを利用した。これは、相手の方の都合のいい時間に返事を書いていただけだったので、大変有効であった。また児童もメールの送受信に慣れることができたので、今後も取り入れていきたい。これを機会に、学校も歯科校医さんとの連絡は、メールで行うようになった。

スタディノートの掲示板に、環境・健康・福祉・国際理解のホルダーを作った。本単元では、健康のホルダーに自分の意見や分かったことを書き込み、全校の掲示板に張り付けた。今後は、単にこれを見合うだけでなく、友達の見解に対して感想や返事を書き込んでいきたい。また、データベースとして保存することで、来年度以降の参考にし健康に対する考えを深めていきたい。